

第四商業高等学校（1 学年用）教科

科目 人間と社会

教科：人間と社会（東京と設定科目） 科目：人間と社会 単位数：1
対象学年組：第 1・2 学年 A 組～ B 組（ポイントリザーブ制：2 年間で3 5 ポイントを取得し1単位を修得する）
使用教科書：（「人間と社会」東京都教育委員会
教科 人間と社会 の目標：

- 【知識及び技能】 様々な価値や考え方があるという多様性や他者と共同することの意義に対するの理解・他者と協働する技能・必要な情報の収集、整理、分析
- 【思考力、判断力、表現力等】 一面的な考察から多面的、多角的考察への変化や自己の内面から行動への変化・自他の考えや調べた知識等を他者に伝える力
- 【学びに向かう力、人間性等】 他人事から当事者意識をもち、学習に主体的に取り組もうとする姿勢・社会の一員として主体的に関わろうとする姿勢・問いや課題を見だし、学習に主体的に取り組もうとする姿勢

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける	社会的現実にはらし、よりよい生き方を選択することが出来るよう、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う	演習や体験活動に主体的・協業的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いの良さを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	教科「人間と社会」における見方・考え方を働かせ、価値の理解を深め、講義と体験活動を通じて道德性を養い形成した判断基準（価値観）を高める 社会的現実にはらし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する資質・能力を次の通り育成を目指す	教科「人間と社会」オリエンテーション ・講義 ・グループワーク ・振り返り	【知識・技能】 教科「人間と社会」における見方・考え方を働かせ、価値の理解を深めたか 【思考・判断・表現】 選択・行動に関する資質・能力を育成する学習、体験による学習などを通じて、道德性を養い形成した判断基準（価値観）を高められたか 【主体的に学習に取り組む態度】 社会的現実にはらし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する資質・能力を次の通り育成することを目指すか	○	○	○	1
	変化の激しい社会の中で、よりよく生きるために、情報技術とリテラシーを身につける	情報教育① ・1人1台端末・スマホ・BYOD校内Wi-Fiの設定・利用 情報教育② ・1人1台端末・スマホ・O365の活用方法 情報教育③ ・1人1台端末・スマホ・スタディサプリの活用方法	【知識・技能】 ・校内BWOD、WIFIについて理解できたか ・マスク・スマホO365の操作方法を理解できたか ・スタディサプリの使用方法を理解できたか 【思考・判断・表現】 ・マスク・スマホO365を操作方法を覚えて活用できるようになったか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・マスク・スマホO365を操作方法を活用し、主体的に学習する態度を身につけられたか	○	○	○	3
	私たちが生きる社会の仕組みを知り、働くことの意義や社会貢献について理解する	働くことの意義について講演会	【知識・技能】 働くことや、職業について、理解ができたか	○	○	○	1
		都立高校生のための職業体験「ジョブ・キャンプ」事前指導 職業意識形成講演会(職業意識形成支援事業東京労働局) ・職業意識を高める講演 ・職業レディネステスト実施	【思考・判断・表現】 社会の一員としての自覚ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 職業体験で、社会の一員として積極的に課題解決に取り組めたか	○	○	○	1
				○	○	○	2
	世界的視野を持って、社会と人生を見つめるられるようになる	JET母国語講演会（異文化理解・英米諸事情） ・JETの母国紹介 アメリカ・台湾・フィリピン ・母国と日本文化の違い	【知識・技能】 異なる価値観や習慣、考え方を理解できたか 【思考・判断・表現】 相手の文化の背景や意味を理解が大切だと思ったか 【主体的に学習に取り組む態度】 文化や価値観の違いを知るため努力をしようとするようになったか	○	○	○	2

	献血やいのちと健康について学習し、献血の必要性について理解する がんの治療と血液事業との関連性について学ぶ 人と人が助け合う社期について知り、自分がどのように関わっているか考える 健康や、命の尊さを学ぶ	献血・がん教育講演会 ・献血やいのちと健康、献血の必要性 ・がんの治療と血液事業との関連性 ・人と人が助け合う社会と、自分との関わり	【知識・技能】 共助や公助の役割から、輸血が必要な人たちやがん患者を献血協力者が支える血液事業のしくみについて理解できたか 【思考・判断・表現】 公共の精神」から他者に自分ができることについて、自ら気づくことができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員として、課題解決のために体験活動に取り組むことが出来たか	○	○	○	2
夏休み	職業体験を通じて、働くことの意義ややりがいを体感する	都立高校生のための職業体験「ジョブ・キャンプ」 ・都内企業に3日間就労体験	【知識・技能】 働くことや、職業について、理解ができたか 【思考・判断・表現】 社会の一員としての自覚ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 職業体験で、社会の一員として積極的に課題解決に取り組めたか	○	○	○	9
2学期	災害と安全に関する体験を行い、災害発生時に適切な行動がとれるようにする。 災害発生時の安全各親健康について知識を身につけ、防災意識と健康維持の意識を高めさせる	水道局と連携した防災訓練 ・応急給水祖凹地の組み立てと給水（DVD） ・給水袋による水の運搬（DVD） ・給水車からの給水体験、避難所の設営運営などの体験	【知識・技能】 災害時における適切な知識・行動を理解できたか 【思考・判断・表現】 災害発生時の安全各親健康について知識を身につけ、防災意識と健康維持の意識が高まったか 災害時における最適な行動を判断できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 災害と安全に関する体験を行い、災害発生時に適切な行動がとれるような意識を持ったか	○	○	○	2
	食生活、栄養バランス、生活リズムの改善から自分の健康管理について、見直し生活習慣を改善する。 地域の食材や食文化について理解し、食生活や食文化について考える。	食育セミナー ・食生活、栄養バランス、生活リズムの改善と健康管理 ・自分の健康管理と生活習慣の改善提案（1人1台スマスクを利用） ・各自にあった理想の朝食を考えさせる。	【知識・技能】 食事の重要性や栄養バランスについての理解を図り、健康で健全な食生活に関する知識や技能を身に付けられたか 【思考・判断・表現】 食生活や食の選択について、正しい知識・情報に基づき、自ら管理し判断することが出来たか 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に自他の健康な食生活を実現しする態度を身に付け、健康の保持増進と、生涯を通して健全な食生活を実践できたか 地域の食材の良さや食文化を理解し、食文化を継承していくために何をしていくか考えることができたか	○	○	○	2
	大学教育への理解を図り学問への意識を向上させる 幅広い学問の世界の世界に触れる経験をさせ、教養を身につけさせる。	教養セミナー ・希望の講義内容2コマを選択し、授業を受ける ・振り返りアンケートを行う	【知識・技能】 大学の授業の専門的について理解できたか 【思考・判断・表現】 授業体験を通じて、自分が興味を持つ分野や将来のキャリアに対する意識が高目ることが出来たか 【主体的に学習に取り組む態度】 大学で学べることを知ることで、今後の勉強へのモチベーションも上がり、目標が明確に出来たか	○	○	○	4
3学期	災害から身を守るために、自助・共助・公助について学ぶとともに応急救護等の処置法を身につけることで、防災意識と実践力を高める	救命救急講習 ・防災講話 ・応急救護方法（グループ実技講習）	【知識・技能】 「自助・共助・公助」を理解し、「応急救護」などのスキルが身につけることが出来たか 【思考・判断・表現】 「備え」の重要性を再認識、「誰かが助けてくれる」ではなく、「自分がまず動く」という意識を持てたか 【主体的に学習に取り組む態度】 防災とは「自分や大切な人を守るための生きる知恵」であることを実感し、日常の中でできることから実践していこうという意識が高めることが出来たか	○	○	○	3

[illegible]